福岡地区ニュース

2023.10 No.1

第３２回福岡県医学検査学会を、令和５年９月３日に純真学園大学において昨年の九州学会同様福岡県学会としては４年ぶりに現地開催いたしました。御蔭をもちまして、総参加者数は４２３名（会員３５６名、賛助会員２８名、学生39 名）に達し、盛会の裡につつがなく終了することができました。これも偏に皆様方の暖かい御支援と御協力の賜物と、深く感謝いたしております。我々福岡地区事務局は新体制となり無事２年目をむかえることになりました。役員一同、会員の皆様へ充実した内容をお届けできるよう頑張っていきたいと考えております。何卒ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和５年度福岡地区事業計画

令和5年度の福岡地区活動計画、および役員は以下の通りです。

令和５年度事業計画

1. 事務局・会議関係

①事務局会議：日臨技本部及び福臨技全体の活動状況を把握し且つ、医療従事者として医療全体の情報収集を図り、地区活動を円滑に行うために年５回の開催とする。　②地区理事会：事業方針の執行、会務の適正な運営を図るため年３回の開催を予定する。③技師長・連絡責任者会議：地区事業の周知徹底と会員の活性と協力を求めていく。　④検査研究部門会議：各検査研究部門の活動を推進し、卒後教育の充実を図ると共に、会員の活性と育成を目的に年２回開催予定。

2. 事業関係

①新入会員研修会：日臨技や福臨技事業をはじめ、地区活動について新入会員を中心とした研修を行うと共に、現会員との親睦を図り、会への協力、理解そして育成をめざす。　②福臨技事業への協力。　③他団体主催行事への協力。　④福岡市医師会急患センターの急患部会への参画。　⑤日本臨床検査技師会連盟への加入推進。

3. 学術関係

①検査研究部門活動の推進：部門別に開催される研修会、講演会が適正かつ健全な運営と活動が行えるよう推進していく。
②県主催・他地区主催事業への協力：県、他地区主催事業及び他団体事業への会員の積極的な協力を行う。

4. 広報関係

①福岡地区ニュースの発行：会の活性化、地区活動の情報源としての役割を確立するため、会の運営状況のみならず、会員からの投稿も積極的に掲載し、内容の充実に努め年２回発行する。
②会誌「ふくおか」への投稿：地区広報コーナー等への地区の紹介及び会員の投稿を積極的に行う。

令和５年度福岡地区役員

役　職	氏　名	施　設　名
地区長	新田　誠	済生会二日市病院
運営委員	生田　幹博	福岡大学筑紫病院
運営委員	牟田　正一	九州がんセンター
運営委員	加藤　康男	福岡赤十字病院
副地区長	緒方　昌倫	九州中央病院
副地区長	森　健一	白十字病院
学術部長	山口　知彦	九州大学病院
管理部長	佐藤　恭平	済生会二日市病院
財務部長	佐伯　綾子	九州医療センター
公益部長	中村　洸太	九州医療センター
学術担当	稲子　勝秀	SRL 福岡ラボラトリー
学術担当	平塚　萌子	九州中央病院
財務、学術担当	畑田　祐也	済生会二日市病院
公益担当	安倍　志帆	九州医療センター
急患部会	植村　彰	青洲会病院

≪福岡地区事務局≫

済生会二日市病院内　新田　誠
（にった　まこと）
Tel.： 092-923-1551 (PHS4740)
Male：m-nitta@saiseikai-futsukaichi.org

学術研究部門紹介

《生物化学分析部門》　石垣　卓也（九州大学病院）

本年度の生物化学分析部門は昨年度と同様に、部門長：石垣卓也(九州大学病院)、副部門長：松岡由希子(福岡徳洲会病院)・権藤圭(福岡市立こども病院)の計３名で担当させて頂きます。勉強会については毎月第２週の木曜日、19 時からの開催を予定しており、生化学検査や免疫検査の基礎を中心に、精度管理の実践や化学・免疫に関する最近の話題なども計画しております。本年度も zoom によるオンラインでの開催が中心となりますが、い

ずれは現地開催も視野に活動していきたいと考えております。企画してほしい内容など、ご要望がありましたら気軽にお声掛けください。皆様のご参加をお待ちしております。

《臨床生理部門》　早川　彰(福岡山王病院)

今年度の臨床生理部門ですが、部門長を早川彰(福岡山王病院)、副部門長を甲斐克也(九州大学病院)、石橋広太郎(福岡山王病院)の計３名で運営させていただきます。勉強会は、今年度も web 開催で、基本的には第三木曜日での開催を予定しています。開催日が異なることもありますので、福臨技ホームページ等をご確認ください。内容は、心電図や肺機能検査を始め、いろいろな企画を出来たらと考えています。1 月からは聴力検査についても予定しております。企画してほしい内容などご要望ありましたら気軽にお声掛けください。会員の皆様の多数の参加をお待ちしております。

《病理細胞部門》仲　正喜（九州大学病院）

病理細胞部門は、今年度も昨年度同様、部門長を仲正喜（九州大学病院)、副部門長を早川愛（臨床病態医学研究所)、林田涼（福岡大学筑紫病院)、天尾優希（九州中央病院）の４名で運営していきます。病理細胞部門は、古くから『木曜会』の愛称で、毎月第４木曜日に勉強会を開催しています。内容としては、「細胞診症例検討」と「レクチャー」を各施設に担当していただき、Zoom による Web 勉強会形式です。多くの会員の方に視聴・参加していただき、日頃の検査で生じる疑問などを積極的に議論できる有意義な場になればと考えています。新人の方からベテランの方まで多数のご参加をお待ちしております。

《臨床一般部門》　尾上　由美（白十字病院）

臨床一般検査部門は、部門長：尾上　由美（白十字病院)、副部門長：岩見　真人（九州中央病院)、寺脇　健太（九州医療センター）の３名で運営しております。今年度の勉強会はすでに開催しました、尿定性検査や尿沈渣検査を中心に、赤血球形態の判定方法や異型細胞の鑑別方法などを企画していく予定です。一般検査を始めたばかりの新人からベテラン技師、ルーチン業務では携わらない当直者まで、日常・当直業務に有用な情報を提供していきたいと考えております。また開催して欲しい勉強会の企画などありましたらご連絡ください。勉強会のお手伝いを希望される方もお気軽にお声掛けください。今年度も多数のご参加をお待ちしております。

《臨床血液部門》　甲斐　壽弘（福岡赤十字病院）

臨床血液部門は第二水曜日に勉強会を開催しております。今年度も Web 開催(zoom)にて勉強会を予定しておりますが、ハイブリッド(現地＋Web)も開催できればと考えております。　部門長に甲斐壽弘、副部門長に青柳賢一（済生会福岡総合病院)、佐藤和宗（福岡大学病院)、吉澤和幸（福岡市立こども病院）の計 4 名にて担当させて頂きます。　内容としては血算、凝固、血液ガスの基礎から、末梢血液像の診方、骨髄検査から症例まで新人の方からベテランの方まで日頃の業務に活かせるような内容にしていきたいと思っています。皆様のご参加をお待ちしております。

《臨床微生物部門》　星　紫織（福岡市医師会臨床検査センター）

臨床微生物部門は、部門長に星紫織（福岡市医師会臨床検査センター)、副部門長に木部泰志（九州大学病院)、結城万紀子（福岡大学病院)、寺山陽史（千鳥橋病院）の 4 名で運営していきます。今年度の研修会も引き続き 2 か月に 1 回、Web オンライン研修会で開催する予定です。他地区とのコラボ研修会『12 のケースから学ぶ！微生物検査技師のための感染症講座』を現在開催中です。皆様一緒に基礎から楽しく学んでいきましょう！

《輸血細胞治療部門》　西津將巨（済生会福岡総合病院）

今期は、部門長：西津將巨（済生会福岡総合病院)、副部門長：渕野亮太（九州中央病院)、東早苗（仲原病院）の 3 名で運営いたします。昨年も全て Web 勉強会で開催しました。参加された方からも Web 勉強会だと参加しやすいとの声を多く頂きました。コロナ感染症も５類へ移行され少しずつ学会や研修会などの現地開催が増え

つつあります。そのような中で、福岡地区輸血部門でも輸血に少しでも興味がある方が、気軽に参加できるような開催方法を適時検討しているところであります。現段階では Web 勉強会が主体で開催いたしますので奮ってご参加ください。勉強会内で質問しにくいことなどがあれば参加レポート内にご質問いただければ回答いたしますので気軽にお尋ねください。皆様のお役に立てるような勉強会を企画したいと思っておりますのでご参加お待ちしております。

《臨床検査総合部門》　井本祐司（福岡大学病院）

2023 年度の臨床検査総合部門は、部門長：井本祐司（福岡大学病院）、副部門長：松本佳隆（福岡徳洲会病院）、森健一（白十字病院）の 3 名で運営いたします。内容としては多岐にわたり、品質保証・データサイエンス・医療情報・業務管理・医療安全や、日臨技でも重点的に取り組まれているタスクシフト、検査説明・検体採取・病棟業務など多くの項目が対象となります。福岡支部では 7 月に「初心者のための統計学」を、福岡県 総合管理部門では 8 月に「データサイエンスセミナー」、9 月に「R-CPC」、日臨技九州支部臨床検査総合部門研修会を 11 月に企画しています。会員の皆様にお役に立つようなテーマを考えて開催いたしますので、多数のご参加をお待ちしております。また、お手伝いして頂ける方や、ご意見・ご要望などありましたらお気軽にお問い合わせください。

《染色体遺伝子部門》　松本　信也（九州大学病院）

2023 年度の染色体遺伝子部門は、部門長：松本 信也（九州大学病院）、副部門長：蒲牟田 靖司（国立病院機構九州医療センター）、植栁 泰（九州大学病院）の 3 名で運営いたします。遺伝子関連検査は、新型コロナウイルスの PCR 検査で注目を集めている病原体分野、がんゲノムや造血器腫瘍などの体細胞分野、更には生殖細胞系列分野などで幅広く活用されてきています。新型コロナ PCR 検査用に機器を導入し、新たに遺伝子検査を始められ、その他の検査に転用できないかなど考慮中の方もいらっしゃるのではないかと存じます。また近年、検査法や装置の開発が急速に進んでおり、最新知識の習得も必要とされます。開催は不定期ではありますが、少しでもお役に立てるようなテーマで開催したいと思っております。ご意見・ご要望などありましたらお気軽にお問い合わせください。